

「新！ひのっすくすくプラン第2期子ども・子育て支援事業計画」の次期計画策定のためのニーズ調査
 子ども・子育て支援会議委員および市役所関係各課による意見一覧

委員による意見

No.	区分	提案内容	対応内容
1	小学生・中学生	小・中学生への調査について、学校での配布回収だと不登校の子どもは回答できないのではないか。不登校児への対応は検討しているのか。	今後インタビュー形式の調査を考えています。
2	未就学児童の保護者	この量の冊子が自宅に届いて、子どもが未就学児であれば、回答する時間が取れないのが現実だと思うので、回答しやすい工夫が必要ではないか。	一時保存が可能なWEB上での回答が可能なシステムを用意することで対応します。
3		問の数が一見多いと感じたが、質問文に施されている下線や帯が効果的で、回答者がすべきことが解りやすく、文字量(情報量)の割にストレスはない。 ただし、0-1歳児を育てている親がこの分量のアンケートに回答することは厳しいと感じた。	
4	未就学児童の保護者 問4~6	「母親の方に伺います」とあるが、母に限定する必要は無いのではないかと。産後の不安についての質問をなぜ母親にだけ聞くのか。両方に聞くことで、父親の育児参加を促すような設計にすることが必要ではないか。	以下の理由から、「母親の方に伺います」を「ご自身の視点でお答えください」に変更します。 ①父親の回答者が少なく、父親限定の項目を設計したとしても、有効な回答数が得られない可能性があるため。(前期計画時の調査では父親の回答者4.6%、母親と父親双方で回答した回答者3.1%) ②現状の設問内容の一部は母親の回答者を想定している(授乳をめぐるトラブル等)ため、父親限定の設問とするのは難しい。
5		現在の案について、違和感を感じてはいない。お父さんがいきなり父としての自覚を持っていない部分があると思う。男女間にギャップがあるので分けて聞くことは問題ないのではないかと。 ただし、読む角度を変えると母親限定にすると不自然に感じる箇所があるのは事実であると思われる。(問5、6などは父母共通の問題である)。 難しいところだが、現状としては母親限定でも問題ないように思われる。	
6		必須項目であり修正は難しいと思われるが、この項目を母親の身に聞くのは、今や時代遅れではないかと考える。子育ての期間で、問4-6について母親の認識を聴くのは良いとしても、同様に父親がこのような母親が置かれている現状をどう思っているのか、父親の認識を問うことが大切なのではないかと思います。必須項目で変更できないならば、日野市の独自項目として父親への項目を追加していただきたい。	

「新！ひのっすくすくプラン第2期子ども・子育て支援事業計画」の次期計画策定のためのニーズ調査

子ども・子育て支援会議委員および市役所関係各課による意見一覧

7	未就学児童の保護者 問12、13	回答項目の「1. 2. 3. 4. 5.」の回答項目それぞれの意味が分かりにくい。「1.」は状況が主語。「2. 3.」は回答者が主語。「4.」は主語が不明。「自分たち親の立場として」の部分が主語を曖昧にしていると感じる。「5.」は主語は回答者だと推測するが、ふさわしい環境であると認識しながらも、なにに(どこに)不安が生じるのか分かりにくく、返答しがたいのではないか。	国指定の必須項目のため修正はしません。
8	未就学児童の保護者 問38	子どもの病気の場合の預け先にファミサポが選択肢としてあるが、ファミサポは決まりとして病児、ケガ児の保育は行わないため。選択肢に入れるのは不適切かと思われる。	選択肢を削除しました。
9	小学生本人 問6	回答の選択肢にファミリー・サポート・センターとあるが、子どもがファミサポさんに保育されていたとしても、ファミリー・サポート・センターという認識はないと思われる。例えば提供会員××さんの家などの認識なのではないか。	選択肢に「(提供会員のひとの家)」と注釈をつけました。
10	小学生本人 問13	小学生に「どちらでもない」、「どちらかといえば～」という文言は理解が難しいと思う。1から5までの数字で選ばせる、笑顔と涙のマークなどを使うなどの工夫が必要ではないか。	言葉と数字の組み合わせで選択してもらうレイアウトにしてみました。
11	中学生本人 問19～21 高校生本人 問25-27	子どもの権利を聞く項目の設問の並びについて。 問25 日野市子ども条例をしているか 問26 あなたは安心してくらしているか 問27 条例の中での子どもの権利を知っているか 問26がこの位置にある意味が分かりにくく返答しづらいのではないかと思われる。問26は問27の次に来た方が、子どもの権利を踏まえた上での回答となるのではないか	設問の順番を変更しました。
12	高校生本人 問28	子どもと関った経験を聞く質問について、子どもとの不適切な関係を疑われていると解釈する高校生がいるのではないか。	質問の主旨を理解してもらえよう、表現を修正しました。
13	若者 問29-30	若者調査では子どもの権利条約を聞くところで、中学生本人・高校生本人調査にある「安心して暮らしているか」の設問を削除しているのはなぜか。若者にも3点セットで聞いていただきたい。	設問を追加しました。

「新！ひのっすくすくプラン第2期子ども・子育て支援事業計画」の次期計画策定のためのニーズ調査
子ども・子育て支援会議委員および市役所関係各課による意見一覧

市役所職員による意見

No.	区分	提案内容	対応内容
1	高校生本人	以下の設問を追加してはどうか。 質問1 あなたは今の状況についてお答えください。 1 高校に通っている 2 定時制高校、通信制高校に通っている 3 専門学校に通っている 4 その他に通っている(その他) 5 正社員で働いている 6 アルバイト、パートをしている 7 上記1-6のどれかに通っていたが今はどこにも通っていない 8 上記のどれも該当しない 質問2 質問1で回答した場所に通っている状況について教えてください。 1 決められた日どおりに通えている。 2 あまり通えていない。 3 ほとんど通えていない。	問1として、設問を追加しました。
2	未就学児童の保護者 問32	以下の回答肢を追加してはどうか。 「どこを利用すればいいかわからない。どのように利用すればいいかわからない。」	回答に追加しました。
3	未就学児童の保護者 問48 小学生の保護者 問21	回答にセーフティネットコールセンター発行の「ひとり親家庭のしおり」や、「無料塾」「子ども食堂」等を入れてもよいのでは。	回答に追加しました。
4	関連事業者・団体 問8～9	問8虐待の原因についての項目で、質問・回答が適切な表現となっているか、誤解を招く表現がないか	質問文及び回答について、改めて検討し、一部修正・追記を行いました。
5	未就学児童の保護者 問54 小学生の保護者 問32	お子さんの世話を主に行っているのはだれかの回答に、「母と父ともに(分担して平等に)」という回答があってもいいのでは	回答に追加しました。